



ワークショップで 築いた灯り展

*Lighting production
developed in the workshop*

新潟大学 橋本研究室では、工学技術を用いた
芸術表現活動を積み上げてきました。

本展覧会では、地域と連携した造形ワーク
ショップに参加して頂いた方々の作品を集め
空間構成として表現しています。会期中、
ギャラリートークと合わせてワークショップ
の実践も紹介いたします。

2025

10/24^(金)_{Fri} ▶ 12/25^(木)_{Thu}



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

科学と アートが 織りなす、 光の物語

この展覧会は、市民参加型のワークショップを取り入れた空間演出作品です。参加者には、「住みたい街」をテーマに、スクラッチという描画技法を使って作品を制作してもらいました。令和6年に開催した西区アートフェスティバル（黒崎市民会館）で行ったスクラッチワークショップで制作された80点の作品に加え、令和7年に新潟市西区内野町で開催した「うちのアートプロジェクト」でのワークショップで提供された作品を用いて、集合体としての光のオブジェや、ペンダント照明などとして構成しています。

展示の演出方法としては、当館で5月に開催した「Material『灯り』展」で使った光源制御技術を活用し、作品が順次照らし出される仕掛けを設けています。これにより、光と作品の連動による動きや変化を楽しめる仕掛けになっています。また、工学技術と芸術表現の融合を模索する中で、光を使った時間軸で変化する表現の可能性も追求しています。インタラクティブな仕組みや、鑑賞者と作品の関係性を考えながら、ゼミの学生とともにデザインや制御方法について検討してきました。これらの技術やアイデアは、街の賑わいや彩りを創り出すことにも役立っています。本企画展では、その一部を再構成し、皆さまにご紹介いたします。



橋本 学
HASHIMOTO
Manabu

略歴
新潟大学人文社会科学系教授
【担当学部】工学部人間支援感性科学プログラム・教育学部美術科
【研究分野】用と美との融合表現、芸術工学、商用デザイン
研究活動は、地域と連携したアートプロジェクトの実践に主軸を置き、地域の子どもの表現をサポートする造形ワークショップや、工学技術を用いた時間軸で変化する空間造形作品を発表しています。主な出展は、「大地の芸術祭」、「水と土の芸術祭」、「喜多方・夢アートプロジェクト」、「アートクロッシングにいがた」等です。デザインワークとしては校章デザイン、企業ロゴマーク、日本酒のパッケージデザイン等を手掛け、それらデザイン的な思考を授業内外で展開しています。



作者によるギャラリートーク

10月25日(土)・11月8日(土)・11月22日(土)・12月6日(土)・12月20日(土)
13:30～14:30／申込不要



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260
2-746 Asahimachi-dori Chuo-ku Niigata

開館時間: 10:00～12:00, 13:00～16:30

休館日: 日・月曜日

入館料: 無料 駐車場: 5台

Hours: 10:00am-12:00pm, 1:00pm-4:30pm

Closed: Sundays and Mondays / Admission free



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



<https://www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/>



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。